

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	<p>研究の名称 「呼吸器疾患患者における新規血清マーカーとしての IFN- の臨床的有用性の検討」</p> <p>研究の対象 2008年4月～2023年3月に浜松医科大学附属病院及び共同研究機関で、呼吸器感染症（肺炎、気管支炎、肺抗酸菌症、肺真菌症）慢性呼吸器疾患（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、特発性間質性肺炎、膠原病や血管炎症候群に合併した間質性肺炎、サルコイドーシス、その他のびまん性肺疾患）などの呼吸器疾患と診断された成人の方800名。</p> <p>研究の目的 IFN- は、炎症や感染症などの免疫応答に関わるタンパク質です。特に抗ウイルス効果を示し、体の中で外からの刺激を受ける臓器である皮膚、肺、消化管に存在することがわかっています。近年、気管支喘息や COPD 患者からの採取した細胞での IFN- の産生が、呼吸器ウイルス感染により低下することが報告されました。しかしながら、どのような肺の病気で、また、どのような治療で、どのように血液中の IFN- 値が変化するのかよくわかりません。 本研究の目的は、血液中の IFN- の値を様々な呼吸器疾患の患者さんで測定させていただき、IFN- がどのような肺の病気で、どのような治療で変化するのかを評価することです。</p> <p>研究の期間 2018年5月より2023年4月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法</p>
--------------------------	--

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では IFN- の測定を浜松医科大学附属病院検査部、あるいは国立研究開発法人 国立国際医療研究センターに委託して行います。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴 等 試料：血液等
利用する者の範囲	共同研究機関の名称及び研究責任者 日本医科大学 アレルギー膠原病内科学分野 桑名正隆 公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 近藤康博
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究責任者 浜松医科大学内科学第二講座 須田隆文
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いいたします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 検査部 担当者：古橋一樹 TEL:053-435-2870

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	<p>E-mail : k.furu@hama-med.ac.jp</p> <p>浜松医科大学 内科学第二講座 担当者：深田充輝、藤澤朋幸 TEL:053-435-2263 E-mail : fukadaaa@hama-med.ac.jp fujisawa@hama-med.ac.jp</p>
--	---